



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 グローム・ホールディングス（株） 上場取引所 東  
 コード番号 8938 URL http://www.glome-holdings.jp  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）金子 修  
 問合せ先責任者 （役職名）経営企画管理室 室長 （氏名）宮下 仁 TEL 03-5545-8101  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,255	△43.4	692	△53.8	486	△70.6	144	△56.0
2019年3月期第2四半期	9,289	67.2	1,498	83.2	1,654	222.2	329	37.7

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 126百万円（△53.5%） 2019年3月期第2四半期 272百万円（38.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	26.04	—
2019年3月期第2四半期	59.23	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,902	6,110	34.1
2019年3月期	22,415	6,010	26.9

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 6,122百万円 2019年3月期 6,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	△41.3	2,400	76.3	1,900	26.4	900	△10.3	161.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,560,400株	2019年3月期	5,560,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	478株	2019年3月期	478株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,559,922株	2019年3月期2Q	5,559,954株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日中貿易摩擦や中国経済の減速により、製造業を中心とした輸出関連分野に弱さが見られたものの、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しに加え、2019年10月からの消費税増税を見越した駆け込み需要等もあり、景気は安定的に推移しました。しかしながら、通商問題の動向が世界情勢に与える影響については予断を許さない状況が続いており、景気の先行きへの影響が懸念されます。

当社グループが属する医療業界におきましては、わが国の人口動態が少子高齢化の傾向を強める中、医療費抑制と地域医療構想の実現に向けて、医療施設経営の効率化が広く課題として認識されます。医療法の改正や病床機能報告制度の導入等、医療施設は医療機能の変革を求められており、また医療介護人材の不足も業界全体で慢性化するなど、運営環境が厳しくなっています。

このような経営環境の中、当社グループは、医療施設を軸とした事業領域へのさらなる集中を目指し、新たなアライアンス構築による事業基盤の拡充を進めております。また、同時に、国内外に所在する販売用不動産の売却活動を継続して行っております。

その結果、売上高5,255百万円(前年同四半期比△43.4%減収)、営業利益692百万円(前年同四半期比△53.8%減益)、経常利益は486百万円(前年同四半期比△70.6%減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は144百万円(前年同四半期比△56.0%減益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りです。

①不動産賃貸関連事業

当第2四半期連結会計期間に行われた保有資産売却による売上の計上が、賃貸収入の減少を上回り、売上高4,375百万円(前年同四半期比51.3%増収)、営業利益842百万円(前年同四半期比98.0%増益)となりました。

②不動産ファンド事業

当社グループが組成したファンドが保有する資産の売却が、当第2四半期連結会計期間はなかったため、売上高140百万円(前年同四半期比△81.3%減収)、営業損失119百万円(前年同四半期は営業利益178百万円)となりました。

③病院関連事業

当第2四半期連結会計期間には、新たに北海道北東部の医療法人とのアライアンスを構築し、累計で18医療法人25施設、2,562病床を抱える規模になりましたが、初期投資を補える規模の売上獲得には至らず、売上高368百万円(前年同四半期比△19.2%減収)、営業損失48百万円(前年同四半期は営業利益49百万円)となりました。

④SPC関連事業

当社グループが組成したファンドが保有する資産の売却が、当第2四半期連結会計期間はなかったため、売上高266百万円(前年同四半期比△94.9%減収)、営業利益87百万円(前年同四半期比△90.8%減益)となりました。

⑤クラウドファンディング事業

運用資産の減少に伴い、売上高258百万円(前年同四半期比△14.2%減収)、営業利益192百万円(前年同四半期比△15.9%減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して20.1%減少し、17,902百万円となりました。主な要因は、販売用不動産2,933百万円の減少、現金及び預金861百万円の減少があったこと等によります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比して28.1%減少し、11,792百万円となりました。主な要因は、匿名組合出資預り金が5,351百万円増加する一方で、長期預り金7,246百万円の減少、短期借入金958百万円の減少、長期借入金842百万円の減少があったこと等によります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比して1.7%増加し、6,110百万円となりました。主な要因は、利益剰余金116百万円の増加があったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日付「2019年3月期決算短信」で発表した業績予想より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,383	2,522
受取手形及び売掛金	578	544
営業貸付金	3,518	3,478
商品及び製品	11	9
販売用不動産	8,621	5,687
原材料及び貯蔵品	0	0
短期貸付金	601	15
1年内回収予定の長期貸付金	177	401
その他	993	781
貸倒引当金	△60	△28
流動資産合計	17,825	13,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	398	246
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
土地	867	867
その他(純額)	71	63
有形固定資産合計	1,337	1,177
無形固定資産		
その他	61	57
無形固定資産合計	61	57
投資その他の資産		
投資有価証券	1,962	1,670
長期貸付金	116	703
繰延税金資産	224	224
敷金及び保証金	435	246
その他	596	556
貸倒引当金	△145	△145
投資その他の資産合計	3,190	3,254
固定資産合計	4,590	4,490
資産合計	22,415	17,902

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	-	0
短期借入金	1,932	974
1年内返済予定の長期借入金	343	201
未払法人税等	629	197
匿名組合出資預り金	-	5,351
賞与引当金	23	28
役員賞与引当金	23	-
その他	323	568
流動負債合計	3,276	7,321
固定負債		
長期借入金	4,656	3,813
資産除去債務	190	134
長期預り敷金保証金	961	467
長期預り金	7,275	28
その他	44	25
固定負債合計	13,128	4,470
負債合計	16,404	11,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199	1,199
資本剰余金	1,162	1,162
利益剰余金	3,806	3,923
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,167	6,284
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△143	△161
その他の包括利益累計額合計	△143	△161
新株予約権	0	0
非支配株主持分	△13	△13
純資産合計	6,010	6,110
負債純資産合計	22,415	17,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,289	5,255
売上原価	6,767	3,654
売上総利益	2,521	1,600
販売費及び一般管理費	1,022	908
営業利益	1,498	692
営業外収益		
受取利息	50	11
受取配当金	0	0
違約金収入	236	7
貸倒引当金戻入額	21	32
賞与引当金戻入額	-	24
匿名組合投資利益	140	-
その他	26	16
営業外収益合計	475	93
営業外費用		
支払利息	173	83
資金調達費用	19	17
持分法による投資損失	102	90
その他	24	107
営業外費用合計	320	298
経常利益	1,654	486
特別利益		
資産除去債務戻入益	-	56
特別利益合計	-	56
特別損失		
保険解約損	24	-
固定資産除却損	-	10
特別損失合計	24	10
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	1,629	532
匿名組合損益分配額	1,051	172
税金等調整前四半期純利益	577	360
法人税等	248	215
四半期純利益	329	144
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	144

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	329	144
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△49	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△17
その他の包括利益合計	△56	△17
四半期包括利益	272	126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272	126
非支配株主に係る四半期包括利益	0	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

(継続企業の前提に関する事項)

当社グループでは、不動産ファンドを組成する際のメザニン・ローンの調達や、医療法人の事業承継資金総額のうちの一部の調達にあたり、融資型クラウドファンディングを活用しております。当社の連結子会社が、当社グループが行う投資についての分析を行い商品設計までを手がけ、その商品の具体的な取得勧誘行為(以下、「募集」と記載)については、maneoマーケット株式会社(以下、「募集外部業者」と記載)へと委託しております。

クラウドファンディングによる資金調達は比較的償還期限が短いため、当社グループは、クラウドファンディング投資家に対して継続的に再募集を行うことにより長期資金としての活用を行っておりましたが、2019年8月より募集外部業者が募集行為を全面的に停止したため、再募集に代わる資金調達手段を早急に確保することが必要となりました。

2019年9月末現在での1年以内償還期限のクラウドファンディング投資家からの匿名組合出資預り金残高は5,351百万円であり、うち3,000百万円につきましては、北京北大青島有限公司から新規の借入契約を締結したことにより充当が可能となりましたが、残余の2,351百万円については、新規契約締結等将来の資金計画を担保できる証拠が未確定のままであり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していません。

当社グループは、これらの状況を解消するため、以下に記載の対応策を実施してまいります。

(1)さらなる資金調達による財務体質の強化を予定しております。

(2)上記メザニン・ローンの対象となる販売用不動産の売却によって得た資金を、クラウドファンディング投資家への償還資金に充当することを予定しております。

しかし、これらの対応策に関する最終的な合意が得られていないため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、このような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、見積実効税率による方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

保有目的の変更

保有目的の変更により、第2四半期連結会計期間において、保有不動産の一部を販売不動産に振替えております。その内容は以下の通りであります。

建物及び構築物	120百万円
建設仮勘定	15百万円
計	135百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					計
	不動産賃貸	不動産 ファンド	病院関連	SPC関連	クラウドファ ンディング	
売上高						
外部顧客への売上高	2,870	696	455	5,065	200	9,289
セグメント間の内部売上 高又は振替高	21	53	—	115	100	291
計	2,892	750	455	5,181	300	9,581
セグメント利益又は損失 (△)	425	178	49	957	228	1,839

(単位：百万円)

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額(注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	—	9,289	—	9,289
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	291	△291	—
計	—	9,581	△291	9,289
セグメント利益又は損失 (△)	△0	1,839	△341	1,498

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△341百万円には、セグメント間取引消去△291百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△49百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	不動産賃貸	不動産 ファンド	病院関連	SPC関連	クラウドファン ディング	計
売上高						
外部顧客への売上高	4,356	91	368	266	172	5,255
セグメント間の内部売上 高又は振替高	19	49	—	—	85	154
計	4,375	140	368	266	258	5,409
セグメント利益又は損失 (△)	842	△119	△48	87	192	955

(単位:百万円)

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額(注)2
売上高				
外部顧客への売上高	—	5,255	—	5,255
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	154	△154	—
計	—	5,409	△154	5,255
セグメント利益又は損失 (△)	—	955	△262	692

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△262百万円には、セグメント間取引消去△154百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは、「その他」にクラウドファンディング事業を含めておりましたが、当社グループの事業活動の実態をより明確にするため、報告セグメントを見直し、第1四半期連結会計期間より「クラウドファンディング事業」を報告セグメントに区分いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2019年9月末現在、匿名組合出資預り金残高5,351百万円をクラウドファンディング投資家に対して分配するための資金を調達する必要があり、うち3,000百万円につきましては、北京北大青鳥有限公司から新規の借入契約を締結したことにより充当が可能となりましたが、残余の2,351百万円については、新規契約締結等将来の資金計画を担保できる証拠が未確定のままであり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

詳細につきましては「継続企業の前提に関する注記」を参照ください。